



## 高尾山の生きものたち

### ミヤマカラスアゲハ (アゲハチョウ科)



青緑色の輝きがひらひらと舞う。ミヤマカラスアゲハの翅は、光を浴びてエメラルドのようにきらめく。低山から山地の樹林帯に生息し、高尾山でも見られる。日中、ゆるやかに飛翔し、様々な花を訪れ、また、よく地上で吸水をしている。

大型の蝶で、翅の表は黒色に青緑色の鱗粉が広がっていて、光の方向によって色や輝きが変わる。裏は黒色で、外側に黄白色の帯がある。通常、年2回、春型が5月頃、夏型が7～8月に発生する。夏型の産卵した卵は、幼虫から蛹となって越冬し、翌春に成虫になる。幼虫の食樹は、カラスザンショウなどミカン科の木。この蝶の輝く舞いが見られるのは、食樹のある豊かな森で命をつないでいるからである。

(写真・文 森林インストラクター 藤原 裕二)

富ちゃん Ⅲ ちゃん

NO.44



## ミズキと キアシドクガ

高尾山のミズキがみんな丸坊主になっている。キアシドクガの幼虫が葉を食べ尽くしているのが原因だ。道路には幼虫がうじゃうじゃと這っている。風に飛ばされて木から落ちたものだ。昨年、このキアシドクガが大量発生してミズキの周りで白い成虫が飛び回っていた。タマゴで越冬するので冬にミズキの木を見ると整列したタマゴを見つけることができる。

幼虫は毛虫の格好をしていて、名前がドクガというけれど幼虫も成虫も毒は無い。幼虫を手にとると以外とかわいい。(感じ方に個人差はあります)成虫もよく見ると凜々しく感じられる。蛹はツタンカーメンにそっくりである。

幼虫に食べ尽くされたミズキのなかで、よく見ると不思議なことに気がついた。同じ木の中で花の咲いている箇所は食害にあって

いないのだ。ミズキの花と幼虫の関係が、すごく気になったが、蕾は食い尽くされている木があるということは、花が咲いてしまえばミズキの勝ちということか。花には色んな虫が寄ってくるので、さすがにうっとうしいのか幼虫は近づかないのかもしれない。ミズキも一回くらい丸坊主にされたくらいでは枯れないようだ。(富)



キアシドクガ



ツタンカーメンにそっくり? 蛹



葉を食われたミズキ



# 森林カレッジ I

5月18日（土）、令和元年度森林カレッジ I が開催されました。これは、同一メンバーを対象として、年4回開催している一般の方向けのイベントです。

初回となる今回は、元日本大学教授の桜井尚武先生をお招きして「森林（もり）の見方」についての講義と森林観察を実施しました。

午前中の講義では、日本国内のみならず地球規模での森林についての歴史や定義など、多方面にわたる内容をご説明いただきました。

午後からの森林観察では、稲荷山歩道ルートでの森林の生態系や特徴についての具体的な解説を聞きながらの登山となりました。当日は幸運なことに絶滅危惧種である「キンラン」の開花に遭遇することもできました。例年、時間の都合もあり頂上目前で解散となっていました。今年度はスケジュールどおり頂上に到達することができ、参加者全員で登頂の喜びを分かち合うことが出来ました。

今後3回のプログラムが実施されますが、参加者の皆様に満足頂けるよう職員一丸となり取り組んでいきたいと思っております。（磯）



講義での質疑応答



午後の森林観察開始



林況を示しながら具体的な説明



楽しく分かりやすい桜井先生の講義



山頂で受講生から感想を頂きました

## 森林教室

### 八王子市立 みなみ野小学校

八王子市立みなみ野小学校では、毎年3年生全員が校庭にある樹木の中からお気に入りの木を「ぼくの木、わたしの木」として各自が選び、1年間を通して観察する学習が行われています。

1回目の4月22日(月)は、センター職員が学校へ出向き、自分の木を選ぶための事前学習として、校庭にある樹木について説明を行いました。

2回目の5月8日(水)は、3年生95名全員が校庭に出て、児童が選んだそれぞれの木の前でセンター職員が詳しい説明を行いました。児童からは「葉っぱの縁のぎざぎざはなんて呼ばれているの?」「常緑樹についてもっと教えて」など数多くの質問があり、答えに窮するような場面もありましたが、実際に木の葉や幹に触れることで、言葉だけでは伝わらない木の特徴などを学んでいただけたと思います。

今回の学習を受け、引き続き森林や環境について興味を持っていただければ幸いです。

5年生になったら、高尾山での森林教室に参加してくださいね。(高)



事前学習では質問多数



熱心に説明を聞いています

## 森林教室

### 八王子市立 みなみ野君田小学校

八王子市立みなみ野君田小学校5年生103名の森林教室を、5月21日(火)に実施しました。森林教室開始時は雨。降雨状況を見ながら進めることとし、午前中は、2つのグループに分かれ、森林ふれあい館の中で、森林学習、丸太切りを交互に実施することにしました。

森林学習では、メモを取りながら森林の働きや大切さ等について学び、質問の時間には多くの児童からの質問に、職員は四苦八苦していました。丸太切りでは、どの児童もびっくりするほど鋸の使い方が上手く、殆どの児童が4~5枚の輪切りを手にし、喜んでいました。雨がやむことを期待しながら、午前中の予定を終え昼食の時間になりましたが、雨は激しくなる一方で、予定した森林観察はあきらめざるを得ず、午後は、丸太の輪切りを利用した「木ホルダー」と「ぶんぶんゴマ」を作るクラフト作成を実施しました。

当日は雨天にもかかわらず、当センターのイベント等にボランティアで協力して下さっているフォレストサポートスタッフ8名の皆さんに参加して頂いていたおかげで、全員の児童がふたつの作品を作り上げることができ、児童達も喜んでくれました。

激しい雨も閉校式の頃には小降りになり、「これから森林観察に行きたい人」と尋ねてみると全員が手を上げ、口々に「行きたい」「行きたい」といっていましたが、残念ながら帰る時間とあっては無理。森林観察ができなかったことは残念でしたが、児童の感想から、森林のことについて勉強できたこと、丸太切りやクラフト作成ができたことでそれなりに楽しんでくれた様子に一安心し、これまで経験したことのない土砂降りの中での森林教室を無事終えることができました。(谷)



森林観察の代わりに木工クラフト

## 出前森林教室 三鷹市 西野保育園

前日の大雨が嘘のように晴れ渡った5月22日（水）、三鷹市の西野保育園で出前森林教室を行い、年長さん25名が、パワーポイントの紙芝居と丸太切り体験、「木ホルダー」作りに挑戦しました。

園児たちは、元気いっぱい「高尾山に天狗が住んでいるのを知っている。？」と聞くと「知っている！」と大きな声で返事をしてくれました。

紙芝居のナレーションは先生にお願いしたのですが、プロの声優さんのような朗読を、園児たちは真剣に聞き入っている様子でした。

紙芝居の後は、お待ちかねの丸太切りです。初めて使うであろう「ノコギリ」を目にすると、歓声を上げる園児たち、お父さん、お母さんのサポートもあり、一人2回丸太を切ってご機嫌です。

最後に木ホルダー作りに挑戦です。丸太の

輪切りにそれぞれが思い思いに絵を描いてカラフルな木ホルダーが完成しました。

初夏のような陽気の中、園児たちは心地よい汗をかきながら、大きな声で「ありがとうございました。」の声に、職員一同癒やされて帰途につきました。（皿）



力作の「木ホルダー」

## 講演 公益社団法人 八王子法人会

5月15日（水）、公益社団法人八王子法人会からの要請を受けて、所長が「森林・林業の現状と課題、高尾森林ふれあい推進センターの紹介」について、元八地区の会員20名の方が参加して、講演を行いました。

講演後の意見・質問等では、シカの被害の大きさにビックリした。また、高尾山にシカはいるのか。被害はあるのか。といった質問がありました。当センターで設置しているセンサーカメラにシカやイノシシ、サルなどの動物が映っていること。そして、シカの被害については今のところ大きい被害があったとは聞いていないことを伝えました。また、当センターが小学生を対象に行っている森林教室について、小さい時から森林に親しみ、森林が持っている多面的

機能を勉強することは非常に有意義なことだ。今後も続けてもらいたいとの励ましの言葉をいただき、引き続きより良い森林環境教育に取り組んでまいります。（田）



講演の様子

### 編集後記

ツタウルシが目立つようになってきました。

森林教室で行う森林散策の際には、触らぬよう注意喚起を行っています。

皆様もうっかり触ったりしないようご注意ください。



ツタウルシ雌花

### Forest通信 NO364

発行：林野庁関東森林管理局  
高尾森林ふれあい推進センター

ご意見・ご要望・イベントのお申込み・お問合わせ先  
高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1  
TEL 050-3160-6040 FAX 042-663-7229  
<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>

